

科目	款	08 土木費	項	01 土木管理費	目	01 土木総務費					
	事業名	地籍調査費（土木総務費）									
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳									
	13,893,874 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等				
		5,143,500 円	0 円	0 円	0 円	0 円	8,750,374 円				
主管	市民一人当たり の決算額	201 円 (一般財源等ベース 127 円)		単位決算額							
土 木 課	1 事業目的										
	<p>国土調査法に基づき、毎筆の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、その結果に基づき地図（地籍図）及び簿冊（地籍簿）を作成することにより、土地に関する基礎的な情報の整備を図る。</p>										
	2 事業内容										
	<p>長畑地区、蓮花寺地区の地籍調査事業を行った。</p> <p>(1) 長畑地区 一筆地調査及び地籍測定の結果に基づき、閲覧に供し、地籍簿及び地籍図を作成した。</p> <p>(2) 蓮花寺地区 地籍調査を着手する為、関連機関との調整、事業計画の策定・公示、計画の作成、推進委員会の設置及び作業班の編成、請負工程の発注準備など事業を進めるための準備を行った。</p> <p>(3) 主な支出科目</p> <table border="1" data-bbox="343 1243 1439 1370"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>地籍調査業務（F～H、A・B工程）</td> <td>13,824,000 円</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	内 容	事業費	委託料	地籍調査業務（F～H、A・B工程）
区 分	内 容	事業費									
委託料	地籍調査業務（F～H、A・B工程）	13,824,000 円									
3 事業成果											
<p>一筆ごとの土地の所有者、地番、地目、境界の調査及び面積に関する測量を行い、精度の高い地籍図と地籍簿を作成し、土地における地籍を明確にすることで地震など災害時の復旧事業を円滑に進めることが可能となり、課税の適正化にも寄与することができた。</p>											

科目	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	02 道路維持費	
	事業名	道路維持費					
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳					
	233,053,299円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0円	0円	0円	56,000,000円	0円	177,053,299円
主管	市民一人当たり の決算額	3,376円 (一般財源等ベース 2,565円)		単位決算額			
土 木 課	1 事業目的 道路や歩道がいつでも安心、快適に利用できるよう、適正に維持管理する。						
	2 事業内容						
	(1) 道路ストック点検費						
	市が管理する道路の利用者及び第三者の被害を防止し、効率的に修繕工事を行うため、点検を実施した上で修繕計画を策定した。						
	ア 支出科目						
			区 分	内 容		事業費	
			委託料	舗装点検業務		24,995,520円	
	(2) 道路維持管理費						
	ア 緊急車両・道路維持作業車の購入 災害時等の緊急時の対応を迅速に行うため、現場へ急行できるような仕様の車両を配備した。						
	イ 施設の点検 道路利用者の安全な通行を確保するため、道路用排水ポンプ施設などの点検を行った。						
ウ 主な支出科目							
		区 分	内 容		事業費		
		需用費	光熱水費など		1,768,804円		
		委託料	清掃業務		22,873,091円		
			排水施設保守業務など		2,050,380円		
		備品購入費	緊急車両・道路維持作業車購入		5,453,916円		
(3) 鉄道駅自由通路維持管理費							
JR 枇杷島駅東西自由通路の維持管理などを行った。							
ア 主な支出科目							
		区 分	内 容		事業費		
		需用費	光熱水費など		4,953,508円		
		委託料	清掃業務、警備業務及び保守点検業務		6,349,663円		
(4) 道路維持補修費							
過去に整備された路線を維持するため、点検の結果を踏まえて策定した維持管理計画に基づく修繕工事を行った。							

ア 支出科目

区 分	内 容	事業費
委託料	測量業務及び設計業務	194,400 円
工事請負費	道路修繕工事、交通安全施設工事 及び一般維持修繕工事など	157,940,215 円
原材料費	維持補修用材料	2,449,196 円

3 事業成果

道路や歩道を適切に管理することにより、年間を通じて利用者の安全な通行を維持し、便利で快適に暮らせるまちづくりに寄与することができた。

土

木

課

科目	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	02 道路維持費	
	事業名	街路灯費					
	平成30年度決算額	財 源 内 訳					
	56,594,411円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
	0円	0円	0円	0円	0円	56,594,411円	
主管	市民一人当たりの決算額	820円 (一般財源等ベース 820円)		単位決算額			
土木課	1 事業目的						
	夜間における交通安全及び犯罪の防止を図るため、街路灯（防犯灯を含む。）の設置及び管理を行い、安全で安心なまちづくりを目指す。						
	2 事業内容						
	(1) 街路灯管理費						
	夜間通行の安全確保及び犯罪防止のため、街路灯の管理及び修繕を行った。また、街路灯LED化一括リースに伴う賃借料を支払った。						
	ア 修繕箇所						
	35か所						
	イ 支出科目						
			区 分	内 容	事業費		
			需用費	電気代	25,865,886円		
		自動点滅器の取替など		733,048円			
		使用料及び賃借料	リース料	26,276,400円			
(2) 街路灯整備費							
地元より要望があった箇所について、夜間通行の安全確保並びに犯罪防止のため、街路灯の新設工事を行った。							
また、既設の街路灯については、点検の結果を踏まえて策定した維持管理計画に基づき、単独支柱の更新を行った。							
ア 新設・取替内容							
		区 分	内 容	本 数			
		新設	街路灯（LED）設置	43か所			
		取替	点検に基づく支柱修繕など	30か所			
イ 支出科目							
		区 分	内 容	事業費			
		工事請負費	街路灯（LED電柱共架）新設、単独支柱更新	3,719,077円			
3 事業成果							
市民の夜間通行時の安全確保及び犯罪の防止が図られ、安全で安心なまちづくりに寄与することができた。							

科目	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	03 道路新設改良費
	事業名	道路改良費				
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳				
	82,667,932円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他
	12,250,000円	0円	0円	0円	14,876,292円	55,541,640円
主管	市民一人当たり の決算額	1,198円 (一般財源等ベース 805円)		単位決算額		
土 木 課	1 事業目的					
	地域住民の利便性向上を図るため、道路改良を行うことにより、市道の機能を充実し、道路の安全性に配慮した道路づくりに努める。					
	2 事業内容					
	(1) 市道西田中蓮池線等整備費					
	歩道の機能を充実するため、水路を覆蓋化する工事を実施した。					
	ア 支出科目					
		区 分	内 容		事業費	
		工事請負費	歩道設置工事		49,985,640円	
	(2) 散策路整備費					
	五条川高水敷に散策路を整備した。					
ア 支出科目						
	区 分	内 容		事業費		
	委託料	散策路整備業務（愛知県）		17,806,000円		
(3) 市道流新田1号線等整備費						
水場川改修事業に伴い、既存市道の移設に必要な用地を購入した。						
ア 主な支出科目						
	区 分	内 容		事業費		
	公有財産購入費	道路用地購入		13,419,638円		
	補償、補填及び 賠償金	建物移転補償		1,038,172円		
3 事業成果						
市街地の発展のため、生活環境の向上を目指して、道路利用者が満足する道路整備を行うことにより、便利で快適に暮らせるまちづくりに貢献できた。						

科目	款	08 土木費		項	02 道路橋梁費		目	03 道路新設改良費							
	事業名	繰越明許費繰越事業													
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳													
	10,800,000円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等								
		0円	0円	0円	0円	10,800,000円	0円								
主管	市民一人当たりの 決算額	156円 (一般財源等ベース 0円)		単位決算額											
土 木 課	<p>1 事業目的 地域住民の利便性向上を図るため、道路改良を行うことにより、市道の機能を充実し、道路の安全性に配慮した道路づくりに努める。</p> <p>2 事業内容 (1) 散策路整備費 五条川高水敷に散策路を整備した。 ア 支出科目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>散策路整備業務（愛知県）</td> <td>10,800,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業成果 市街地の発展のため、生活環境の向上を目指して、道路利用者が満足する道路整備を行うことにより、便利で快適に暮らせるまちづくりに貢献できた。</p>									区 分	内 容	事業費	委託料	散策路整備業務（愛知県）	10,800,000円
	区 分	内 容	事業費												
	委託料	散策路整備業務（愛知県）	10,800,000円												

科目	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	04 橋梁維持費	
	事業名	橋梁維持費					
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳					
	40,503,780円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		16,857,000円	0円	0円	0円	0円	23,646,780円
主管	市民一人当たりの 決算額	587円 (一般財源等ベース 343円)		単位決算額			
土 木 課	1 事業目的						
	市が管理する橋梁について、橋梁本体部材及び橋梁附属物の損傷状態を把握するために行った点検の結果と修繕計画に基づき、修繕及び改築更新等を行うことにより、常に良好で円滑な橋梁機能を保持する。						
	2 事業内容						
	(1) 橋梁点検費						
	橋梁の効率的な維持管理を推進するため、道路法に基づく定期点検を計画した。						
	ア 支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	使用料及び賃借料		橋梁台帳システム使用料		258,660円		
	(2) 橋梁維持補修費						
	定期点検の結果を踏まえた橋梁長寿命化計画に基づき橋梁補修工事を行った。						
ア 支出科目							
区 分		内 容		事業費			
委託料		橋梁詳細設計業務		6,963,840円			
工事請負費		橋梁補修工事		33,281,280円			
3 事業成果							
橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁補修を行うことにより、橋梁に係る維持管理コストの縮減や平準化を行うことができ、常に良好で円滑な橋梁機能を保持することができた。							

科目	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	05 橋梁新設改良費	
	事業名	橋梁改良費					
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳					
	80,230,022円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
	29,333,000円	0円	0円	0円	0円	50,897,022円	
主管	市民一人当たりの 決算額	1,162円 (一般財源等ベース 737円)		単位決算額			
土 木 課	1 事業目的						
	愛知県が実施する「新川圏域河川整備計画」(愛知県策定)に基づいて、地域全体が連携して安全と安心をわかちあい、うるおいのある暮らしを支え育むことができる川づくりのための河川改修事業(五条川・水場川改修事業)に同調し、橋梁の架け替え事業を推進する。						
	2 事業内容						
	(1) 船舩橋整備費						
	県が実施している五条川の改修に伴い、船舩橋架け替え工事と埋蔵文化財の調査を行った。						
	ア 支出科目						
			区 分	内 容		事業費	
			委託料	船舩橋架け替え事業に係る整備協定(県)に基づく橋梁改築及び埋蔵文化財調査業務		74,755,200円	
	(2) 白弓橋整備費						
	県が実施している水場川の改修に伴い、白弓橋架け替えの測量及び詳細設計を行った。						
ア 支出科目							
		区 分	内 容		事業費		
		委託料	白弓橋架け替え事業に係る整備協定(県)に基づく測量及び設計業務		5,474,822円		
3 事業成果							
五条川・水場川の河川改修事業を実施することにより、浸水被害を解消できるとともに、安全で安心な生活環境を提供することができた。							
また、河川改修に伴い橋梁を架け替えることにより、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することができた。							

科目	款	08 土木費	項	02 道路橋梁費	目	05 橋梁新設改良費
	事業名	繰越明許費繰越事業				
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳				
	72,000,000円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他
	0円	0円	0円	0円	72,000,000円	0円
主管	市民一人当たり の決算額	1,043円 (一般財源等ベース 0円)		単位決算額		
土 木 課	1 事業目的					
	<p>愛知県が実施する「新川圏域河川整備計画」(愛知県策定)に基づいて、地域全体が連携して安全と安心をわかちあい、うるおいのある暮らしを支え育むことができる川づくりのための河川改修事業(五条川改修事業)に同調し、橋梁の架け替え事業を推進する。</p>					
	2 事業内容					
(1) 船枋橋整備費						
<p>県が実施している五条川の改修に伴い、船枋橋架け替え工事と埋蔵文化財の調査を行った。</p>						
ア 支出科目						
		区 分	内 容		事業費	
		委託料	船枋橋架け替え事業に係る整備協定(県)に基づく橋梁改築及び埋蔵文化財調査業務		72,000,000円	
3 事業成果						
<p>五条川の河川改修事業を実施することにより、浸水被害を解消できるとともに、安全で安心な生活環境を提供することができた。</p>						
<p>また、河川改修に伴い橋梁を架け替えることにより、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することができた。</p>						

科目	款	08 土木費		項	03 河川費		目	01 河川総務費	
	事業名	五条川ふるさとの川管理費（河川費）							
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳							
	7,356,960 円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等		
		0 円	0 円	0 円	0 円	0 円	7,356,960 円		
主管	市民一人当たりの 決算額	107 円 (一般財源等ベース 107 円)			単位決算額				
土 木 課	1 事業目的								
	国からふるさとの川モデル河川に指定を受けた五条川について、良好な水辺空間の形成を図るため、適正に維持管理を行う。								
	2 事業内容								
	五条川堤防の良好な景観を維持するための管理などを行った。								
(1) 支出科目									
		区 分	内 容				事業費		
		委託料	緑地管理業務				3,996,000 円		
			堤防草刈業務				3,360,960 円		
3 事業成果									
河川の良好な景観を維持することにより、五条川の自然な環境特性を活かした、良好な水辺空間の形成を図ることができた。									

科目	款	08 土木費	項	03 河川費	目	01 河川総務費	
	事業名	雨水貯留施設費					
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳					
	26,427,300円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		7,000,000円	0円	0円	0円	162,000円	19,265,300円
主管	市民一人当たりの 決算額	383円 (一般財源等ベース 279円)		単位決算額			
土 木 課	1 事業目的 新川流域の都市化の進展に伴う保水、遊水機能の維持、確保を計画的に推進するため、雨水貯留施設の管理及び整備を行い、水害に強い安全で安心なまちづくりを目指す。						
	2 事業内容						
	(1) 雨水貯留施設管理費 雨水貯留施設を維持、確保するための管理を行った。						
	ア 主な支出科目						
			区 分	内 容		事業費	
			需用費	貯留池ポンプ（6か所）電気代		1,118,338円	
			委託料	清掃業務、保守点検業務		2,457,432円	
			工事請負費	調整池排水ポンプ修繕工事		1,393,200円	
	(2) 雨水貯留施設整備費 新川中学校に雨水貯留施設を整備するための詳細設計を行った。						
	ア 支出科目						
		区 分	内 容		事業費		
		委託料	雨水貯留施設詳細設計業務		21,384,000円		
3 事業成果 集中豪雨時の浸水対策として、雨水貯留施設の管理及び整備を行うことにより、水害に強い安全・安心なまちづくりに貢献できた。							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費
	事業名	都市計画基本計画策定費（都市計画基本計画費）				
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳				
	6,473,009円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他
	0円	0円	0円	0円	0円	6,473,009円
主管	市民一人当たり の決算額	94円 (一般財源等ベース 94円)		単位決算額		
都市 計 画 課	1 事業目的					
	都市計画基本計画は、都市計画法第18条の2に位置づけられた「都市計画に関する基本的な方針」である。清須市第2次総合計画との整合を図りながら、都市の将来像や土地利用の基本方針、少子高齢化を踏まえたまちづくりの方針を定めた都市計画マスタープランを策定する。					
	2 事業内容					
	平成29年度に現況調査及び市民アンケートを実施し、策定委員会を開催した。平成30年度は現況の分析、構想の検討を実施し、ワークショップ及び策定委員会を開催し、都市計画マスタープランを策定した。					
	(1) 清須市都市計画マスタープラン策定委員会					
		開催回数	委員数	議 題		
		2回	14名	都市計画マスタープランの策定について 現況の分析、構想の検討		
	(2) 支出科目					
		区 分	内 容		事業費	
		報償費	大学教授 1名 市民団体代表 10名		160,660円	
	需用費	報告書、概要版の作成		372,349円		
	委託料	現況分析、資料等作成支援		5,940,000円		
3 事業成果						
都市計画の基本方針である都市計画マスタープランを策定することにより、来たるべき少子高齢化に対応した清須市のまちづくりに寄与することができた。						

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	
	事業名	民間木造住宅耐震化促進費					
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳					
	2,215,007円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
	1,598,775円	0円	0円	0円	0円	616,232円	
主管	市民一人当たり の決算額	32円 (一般財源等ベース 9円)		単位決算額	116,579円 (実績件数 19件)		
防 災 行 政 課	1 事業目的						
	東海、東南海、南海地震が同時あるいは連動的に発生する懸念が強まる中、地震発生時における木造住宅の倒壊などによる被害を軽減するため、旧基準木造住宅（建築基準法の改正された昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅）の耐震診断及び耐震改修などに要する費用を補助することにより、地震対策への取組を促進する。						
	2 事業内容						
	(1) 民間木造住宅耐震化促進事務費						
	ア 主な支出科目						
			区 分	内 容	事業費		
			需用費	耐震診断等啓発チラシ作成費	191,808円		
			委託料	耐震改修無料相談会相談員業務	28,425円		
	(2) 民間木造住宅耐震診断費						
	ア 支出科目						
		区 分	内 容	事業費			
		委託料	民間木造住宅耐震診断業務	787,100円			
(3) 民間木造住宅耐震改修費補助金							
ア 支出科目							
		区 分	内 容	事業費			
		負担金、補助及び交付金	民間木造住宅耐震改修費補助金	1,000,000円			
(4) 民間木造住宅除却費補助金							
ア 支出科目							
		区 分	内 容	事業費			
		負担金、補助及び交付金	民間木造住宅除却費補助金	200,000円			
3 事業成果							
地震に対しての住宅強度が判定されることにより、耐震化に対する意識の向上につなげることができた。							
また、木造住宅の耐震補強や強度不足の住宅の除却が実施されることにより、住宅倒壊の恐れが減少し、死傷者発生への抑制、避難通路の確保など、減災対策への取組を促進することができた。							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	
	事業名	雨水貯留浸透施設設置補助金（小規模雨水貯留施設費）					
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳					
	128,800円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0円	0円	0円	0円	0円	128,800円
主管	市民一人当たり の決算額	2円 (一般財源等ベース 2円)		単位決算額	32,200円 (補助件数 4件)		
都 市 計 画 課	1 事業目的 本市における雨水の流出抑制と水環境の育成を図るため、住宅等の敷地に雨水貯留浸透施設を設置する者に対し、予算の範囲内において補助金を交付することにより、雨水による浸水及び冠水被害の減少につなげる。						
	2 事業内容 雨水貯留施設を設置した者に対し、補助金を交付した。						
	(1) 雨水貯留施設 1000以上の貯留容量の貯留槽を住宅等の敷地に設置した者に、1000当たり7,000円（上限1,0000、7万円）を補助した。						
	ア 設置数量						
	補助単価		件数		数量		
7,000円/1000		4件		2,0400			
イ 支出科目							
区分		内容		事業費			
負担金、補助及び交付金		雨水貯留浸透施設設置補助金（雨水貯留槽）		128,800円			
3 事業成果 雨水貯留浸透施設を設置することにより、大雨時の雨水流出抑制、河川や排水機場への負荷軽減、雨水の有効活用などが図れ、防災や環境に対する意識を高めることができた。							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	
	事業名	都市緑化推進事業補助金（都市緑化推進費）					
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳					
	5,969,000円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		5,969,000円	0円	0円	0円	0円	0円
主管	市民一人当たり の決算額	86円 (一般財源等ベース 0円)		単位決算額	2,984,500円 (補助件数 2件)		
都 市 計 画 課	1 事業目的						
	身近な緑の質を高め、市全体の緑化の推進につなげるため、市民・事業者が実施する緑化への取組に対し、あいち森と緑づくり事業（都市緑化推進事業）である都市緑化推進事業補助金を交付する。						
	2 事業内容						
	清須市都市緑化推進事業補助金交付要綱の規定により、補助金を交付した。						
	(1) 市民参加緑づくり事業						
	清洲小学校及び古城小学校の敷地内において、整備されてから年月が経過し荒廃した緑地について、児童らが日常的に緑に触れ合える場所として再生するため花壇を整備した。						
	ア 参加児童・保護者						
	清洲小学校		古城小学校				
	103人		124人				
	イ 支出科目						
区分		内容		事業費			
負担金、補助及び交付金		清洲小学校（花壇整備）		2,970,000円			
		古城小学校（花壇整備）		2,999,000円			
3 事業成果							
市民参加緑づくり事業により、児童が緑の大切さを考えるきっかけを創出するとともに、小学校における緑化を推進することができた。							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	01 都市計画総務費	
	事業名	民間ブロック塀等撤去費補助金（民間ブロック塀等撤去費）					
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳					
	977,000円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		448,000円	0円	0円	0円	0円	529,000円
主管	市民一人当たりの 決算額	14円 (一般財源等ベース 8円)		単位決算額	81,417円 (補助件数 12件)		
都市 計画 課	1 事業目的						
	市民の生命、身体及び財産を地震等による災害から保護するため、倒壊の危険性のあるブロック塀等を撤去しようとする者に対し、清須市民間ブロック塀等撤去費補助金を交付する。						
	2 事業内容						
	撤去に要した経費又は撤去したブロック塀等の延長に1m当たり10,000円を乗じた額のいずれか少ない額の2分の1を補助した。(上限20万円)						
	(1) 補助件数						
		件 数	ブロック塀延長				
		12件	214.82m				
(2) 支出科目							
		区 分	内 容	事業費			
		負担金、補助及び交付金	民間ブロック塀等撤去費補助金	977,000円			
3 事業成果							
ブロック塀等を撤去しようとする者に対し、撤去費用を補助することで、危険なブロック塀等の撤去を促し、もって災害時の被害の軽減や避難路の確保に努めることができた。							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	02 土地区画整理費							
	事業名	清洲駅前土地区画整理費											
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳											
	98,388,170円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等						
		22,000,000円	0円	0円	59,000,000円	0円	17,388,170円						
主管	市民一人当たりの 決算額	1,425円 (一般財源等ベース 252円)		単位決算額									
都市 計画 課	1 事業目的												
	<p>組合施行による土地区画整理事業において、低未利用地の計画的な面的整備を行い、道路、公園、雨水調整池の公共施設整備と土地利用の効率化を促進するため、市助成金及び都市計画道路整備の負担金を支出し、快適で良好な市街地整備を図る。</p>												
	2 事業内容												
	<p>(1) 土地区画整理事業補助金 清須市土地区画整理事業補助要綱に基づき、道路、排水路、公園用地、雨水調整池、建物移転に対して、公共施設の整備をするための費用として事業計画に基づき交付した。</p> <p>(2) 道路整備事業負担金 清洲駅前土地区画整理事業地内にある都市計画道路清洲駅前線等を区画整理事業に併せて整備するため、国庫補助金を除いた整備費用を県との協定に基づき負担した。</p> <p>(3) 主な支出科目</p> <table border="1" data-bbox="338 1240 1436 1413"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">負担金、補助及び交付金</td> <td>清須市土地区画整理事業補助要綱に基づく補助金</td> <td>67,000,000円</td> </tr> <tr> <td>道路整備事業負担金</td> <td>31,250,000円</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	内 容	事業費	負担金、補助及び交付金	清須市土地区画整理事業補助要綱に基づく補助金	67,000,000円	道路整備事業負担金
区 分	内 容	事業費											
負担金、補助及び交付金	清須市土地区画整理事業補助要綱に基づく補助金	67,000,000円											
	道路整備事業負担金	31,250,000円											
3 事業成果													
<p>土地区画整理事業を実施する組合へ補助金を交付するとともに、清洲駅前土地区画整理事業地内にある都市計画道路を整備するための負担金を県へ支出することにより、組合事業の推進が図られ、駅前にふさわしい都市施設の整備、土地利用増進及び有効活用、災害に強いまちづくりのための事業推進に寄与することができた。</p>													

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	02 土地区画整理費											
	事業名	新清洲駅北土地区画整理費															
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳															
	819,200,596円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等										
	318,005,000円	800円	0円	231,500,000円	50,000,000円	219,694,796円											
主管	市民一人当たり の決算額	11,867円 (一般財源等ベース 3,183円)		単位決算額													
新清洲駅 周辺 まちづくり課	1 事業目的																
	<p>清須市第2次総合計画においては交流拠点として、また都市計画マスタープランにおいては都市拠点として位置付けられている名鉄新清洲駅北土地区画整理事業地区は、市施行による区画整理事業を実施することにより、名鉄新清洲駅周辺の公共施設の整備と土地利用の効率化を促進し、快適で良好な市街地整備を図るため、建物等補償調査、建物移転補償、実施設計、整備工事などを行う。</p> <p>また、この事業と併せて実施する鉄道高架事業のための鉄道の仮線、仮駅舎等にかかる用地を優先的に確保するために、建物等移転補償を行う。</p>																
	2 事業内容																
	(1) 事業用地管理費																
	取得した減価補償用地及び建物除却後の使用収益停止用地の管理を行った。																
	(2) 土地区画整理事業費																
	整備工事、確定測量、建物等の補償調査、移転補償、実施設計などを行った。																
	また、鉄道の仮線用地、仮駅舎用地等を確保する必要があることから、早期に対象となる区域の建物等移転補償を行った。																
	(3) 主な支出科目																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>権利者等調整、確定測量、建物等補償調査、実施設計業務、整備工事など</td> <td>335,482,558円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>施行者管理地に係る防草等維持補修工事</td> <td>1,725,840円</td> </tr> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td>建物等移転補償費</td> <td>481,610,180円</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	内 容	事業費	委託料	権利者等調整、確定測量、建物等補償調査、実施設計業務、整備工事など	335,482,558円	工事請負費	施行者管理地に係る防草等維持補修工事	1,725,840円	補償、補填及び賠償金	建物等移転補償費
区 分	内 容	事業費															
委託料	権利者等調整、確定測量、建物等補償調査、実施設計業務、整備工事など	335,482,558円															
工事請負費	施行者管理地に係る防草等維持補修工事	1,725,840円															
補償、補填及び賠償金	建物等移転補償費	481,610,180円															
3 事業成果																	
<p>整備工事及び補償調査及び建物等移転補償を行い、仮換地の使用収益開始及び令和元年度以降の整備工事に向け事業を推進することができた。</p> <p>また、鉄道の仮線に必要な用地の建物等移転補償を行うことで、鉄道高架事業に必要な用地を早期に確保することができた。</p>																	

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	03 街路事業費	
	事業名	街路費					
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳					
	30,076,290円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0円	0円	0円	0円	13,061,800円	17,014,490円
主管	市民一人当たりの 決算額	436円 (一般財源等ベース 246円)		単位決算額	2,005,086円 (都市計画道路等 15か所)		
都市 計画 課	1 事業目的						
	都市計画道路の除草や樹木の剪定及び防除などにより、道路環境を適正に維持し、緑と潤いを与えるとともに、通行車両、歩行者の安全を確保する。						
	また、土地区画整理組合及び稲沢市に代わって受託事業として清洲駅前広場の整備を行う。						
	2 事業内容						
	(1) 街路管理費						
	都市計画道路の樹木などの管理を行った。						
	ア 管理路線（14路線）						
	助七西市場線、西清洲上条線、新清洲駅前線、鍋屋片町線、大和町線、新川麒麟線、朝日阿原線、須ヶ口停車場線、小場塚新田線、清須新川線、枇杷島小田井線、西枇杷島味鉢線、枇杷島停車場線及び枇杷島駅前通線						
	イ 支出科目						
			区 分	内 容		事業費	
		需用費	光熱水費		282,896円		
		委託料	除草作業、樹木剪定作業及び防除業務など		17,938,260円		
		工事請負費	街路樹取替等工事		2,871,720円		
(2) 清洲駅前広場整備費							
清洲駅前広場の整備をするため、詳細設計を行った。							
ア 支出科目							
		区 分	内 容		事業費		
		委託料	駅前広場詳細設計		6,048,000円		
(3) JR枇杷島駅前通線・東口駅前広場整備事業立替金償還費							
JR枇杷島駅前通線・東口駅前広場整備に伴う都市再生機構による立替分を償還した。							
ア 償還期間							
平成19年度から令和8年度まで							
イ 支払金額							
52,276,433円							
ウ 支出科目							
		区 分	内 容		事業費		
		公有財産購入費	枇杷島駅前線整備事業償還元金及び償還利息		2,935,414円		

3 事業成果

年間を通じて都市計画道路の街路樹や駅前広場等の適正な管理を行い、良好な道路環境を維持することができた。

また、土地区画整理組合及び稲沢市から受託を受け、清洲駅前広場の詳細設計を行うことができた。

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	04 鉄道高架費	
	事業名	新清洲駅付近鉄道高架費					
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳					
	79,788,824円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0円	0円	0円	0円	0円	79,788,824円
主管	市民一人当たり の決算額	1,156円 (一般財源等ベース 1,156円)		単位決算額			
土木課・都市計画課・新清洲駅周辺まちづくり課	1 事業目的						
	<p>五条川改修事業に伴う名鉄名古屋本線鉄道橋の架け替えに同調して、国道302号、県道名古屋祖父江線等の鉄道交差部の一体的な鉄道高架事業を相互協力し、円滑に進めるための確認書を国土交通省、愛知県、稲沢市、清須市で取り交わした。</p> <p>便利で快適に暮らせるまちづくりを推進するため、確認書に基づき仮線用地等を確保することで、鉄道高架事業を推進するとともに、将来整備する都市計画道路、緑地及び市道の用地測量を行う。</p>						
	2 事業内容						
	(1) 鉄道高架整備費						
	<p>鉄道高架事業と併せて進めている新清洲駅北土地区画整理事業地内において、申出換地を希望された権利者について、鉄道高架事業に必要な用地を確保するため用地買収を行った。</p> <p>ア 支出科目</p>						
			区 分	内 容	事業費		
			需用費	収入印紙	10,000円		
			役務費	不動産鑑定手数料	86,400円		
			公有財産購入費	仮線及び仮駅舎用地購入費	29,748,300円		
	(2) 街路整備費						
<p>鉄道高架事業に伴う仮線用地に、将来整備する都市計画道路及び緑地用地の測量を行った。</p> <p>ア 支出科目</p>							
		区 分	内 容	事業費			
		委託料	用地測量業務など	49,944,124円			
3 事業成果							
<p>用地測量を行い、令和元年度以降の仮線用地の確保に向けた取得面積を確定することができた。</p> <p>また、年度計画に沿った仮線用地を確保することで清須市としての役割を果たし、限度額立体交差事業に関係する各事業者の事業を推進することができた。</p>							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	05 公共下水道費	
	事業名	流域下水道関連施設費					
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳					
	5,412,739円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0円	739,400円	0円	0円	313,200円	4,360,139円
主管	市民一人当たりの 決算額	78円 (一般財源等ベース 63円)		単位決算額	5,771円 (延べ利用件数 938件)		
上下水道課	1 事業目的 新川西部浄化センター内の緩衝緑地及び水の交流ステーションの適正な維持管理を行い、親しみやすい施設を確保する。						
	2 事業内容 環境整備事業で建設された新川西部浄化センター緑地及び水の交流ステーションの維持管理を行った。						
	(1) 利用件数						
			区 分	延べ利用件数			
			研修室（1階）	456件			
			多目的ホール（2階）	482件			
			合 計	938件			
	(2) 主な支出科目						
			区 分	内 容	事業費		
	需用費		消耗品費など		29,355円		
光熱水費			854,244円				
委託料		新川西部浄化センター緑地除草及び水の交流ステーション清掃業務		637,200円			
		保守点検業務		124,200円			
		水の交流ステーション管理等業務		3,714,833円			
3 事業成果 緩衝緑地及び水の交流ステーションを適正に維持管理することにより、親しみやすい施設を提供することができた。							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	06 都市下水路費	
	事業名	都市下水路等費					
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳					
	128,768,080円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
		0円	0円	0円	0円	0円	128,768,080円
主管	市民一人当たりの 決算額	1,865円 (一般財源等ベース 1,865円)		単位決算額			
上 下 水 道 課	1 事業目的 浸水被害の解消を図るため、ポンプ場、雨水管渠及び調整池の管理、整備を行い、水害に強い安全で安心なまちづくりを目指す。						
	2 事業内容						
	(1) 都市下水路等管理費 ポンプ場（8か所）、雨水管渠及び調整池（1か所）を維持管理するため、保守点検業務をはじめ修繕及び浚渫工事などを行った。						
	ア 主な支出科目						
	区 分		内 容		事業費		
	需用費		燃料費		469,800円		
			光熱水費		9,923,645円		
	委託料		清掃業務など		4,089,150円		
			保守点検業務など		17,764,704円		
	工事請負費		浚渫工事及びポンプ場修繕工事		12,886,809円		
(2) 都市下水路整備費 ポンプ場を維持管理するため、改良工事を行った。							
ア 支出科目							
区 分		内 容		事業費			
工事請負費		下河原ポンプ場非常用発電機改良工事及び小場塚ポンプ場1号ポンプ分解整備工事		66,017,160円			
(3) 小場塚幹線整備事業立替金償還費 小場塚幹線整備（西枇杷島町宮前一丁目地内他）に伴う都市再生機構による立替分を償還した。							
ア 支出科目							
区 分		内 容		事業費			
公有財産購入費		償還元金及び償還利子		16,407,481円			
3 事業成果 ポンプ場、雨水管渠及び調整池を適正に管理することにより、水害に強い安全で安心なまちづくりを進めることができた。							

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	07 公園費		
	事業名	都市公園費						
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳						
	129,007,126円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等	
	13,754,000円	147,949円	0円	0円	0円	115,105,177円		
主管	市民一人当たり の決算額	1,869円 (一般財源等ベース 1,667円)		単位決算額	2,080,760円 (都市公園 62か所)			
都市 計画 課	1 事業目的 地域住民の余暇活動や良好な住環境の形成に資するため、公園や緑地の維持管理や整備を行い、市民に緑とふれあう憩いや潤いの空間としての快適な都市環境を提供する。							
	2 事業内容							
	(1) 都市公園管理費 利用者が安心して利用できるよう、遊具などの公園施設の維持管理を行った。							
	ア 都市公園（62か所）							
	西枇杷島地区		清洲地区		新川地区		春日地区	
	12か所		14か所		28か所		8か所	
	イ 支出科目							
	区 分		内 容			事業費		
	需用費		消耗品費			117,240円		
			光熱水費			3,682,638円		
修繕料			1,394,496円					
役務費		し尿汲取り手数料など			2,324,154円			
委託料		樹木剪定、除草及び清掃業務など			76,922,520円			
		遊具及び浄化槽などの保守業務			3,635,280円			
		河川敷公園出水対策業務など			1,103,680円			
使用料及び賃借料		リバーランド排水管			9,562円			
工事請負費		フェンス修繕工事など			4,394,196円			
(2) 都市公園整備費 西田中一号公園の基盤整備工事を行った。 また、平成23年度に作成した「公園施設長寿命化計画」に基づき、国庫補助を活用して、老朽化した公園施設の改築更新などの工事を行った。								
ア 支出科目								
区 分		内 容			事業費			
委託料		設計積算業務			2,484,000円			
工事請負費		西田中一号公園基盤整備工事			9,180,000円			
		公園施設改築更新及びはるひ夢の森公園園路改修工事など			23,759,360円			
3 事業成果 市民に緑とふれあう憩いや潤いの空間としての都市公園の維持管理や整備を行うことにより、快適な都市環境を提供することができた。								

科目	款	08 土木費	項	04 都市計画費	目	07 公園費	
	事業名	児童遊園等費					
	平成30年度 決算額	財 源 内 訳					
	34,199,137円	国・県支出金	使用料・手数料	分担金・負担金・寄附金	地方債	その他	一般財源等
	0円	0円	0円	0円	0円	34,199,137円	
主管	市民一人当たり の決算額	495円 (一般財源等ベース 495円)		単位決算額	814,265円 (児童遊園等 42か所)		
都 市 計 画 課	1 事業目的 児童遊園及びちびっこ広場（以下「児童遊園等」という。）を除草清掃、樹木の剪定などにより適正に維持管理し、安全、安心、快適な環境を提供する。						
	2 事業内容						
	(1) 児童遊園等管理費 児童遊園等を適正に維持管理するため、除草及び清掃を実施した。 また、樹木の剪定、防除や遊具などの保守点検を定期的実施した。						
	ア 児童遊園等（42か所）						
			区 分	児童遊園	ちびっこ広場	合 計	
			西枇杷島地区	0か所	11か所	11か所	
			清洲地区	3か所	8か所	11か所	
			新川地区	0か所	6か所	6か所	
			春日地区	11か所	3か所	14か所	
			合 計	14か所	28か所	42か所	
イ 支出科目							
		区 分	内 容		事業費		
需用費		消耗品費		42,286円			
		光熱水費		632,029円			
		修繕料		555,444円			
役務費		し尿汲取り手数料など		472,576円			
委託料		樹木剪定、除草及び清掃業務など		9,528,416円			
		遊具及び浄化槽の保守業務		1,974,240円			
		浄化槽法定検査		62,000円			
使用料及び賃借料		児童遊園等の土地借地料		16,608,118円			
工事請負費		遊具塗装及び補修工事		3,827,228円			
(2) 児童遊園等整備費 中河原ちびっこ広場の下水道切替工事を行った。							
ア 支出科目							
		区 分	内 容		事業費		
		工事請負費	下水道切替工事		496,800円		
3 事業成果 児童遊園等を適正に維持管理することで、安心、安全、快適な環境を提供することができた。							